

実施体制

(下線: 代表機関)

イツ・コミュニケーションズ、南砺市、日本ケーブルラボ、となみ衛星通信テレビ、DXアンテナ、Cueform

実証地域

富山県南砺市

目標

サーマルカメラ・連動PTZカメラ + AIボックスとWi-Fi HaLow (850MHz)により、熊出没の自動検知、遠隔監視を行い遠隔操作により、住民宅のテレビにプッシュ通知することで、在宅住民が熊出没情報をタイムリーに把握できるようにする。

通信技術

Wi-Fi HaLow (850MHz)

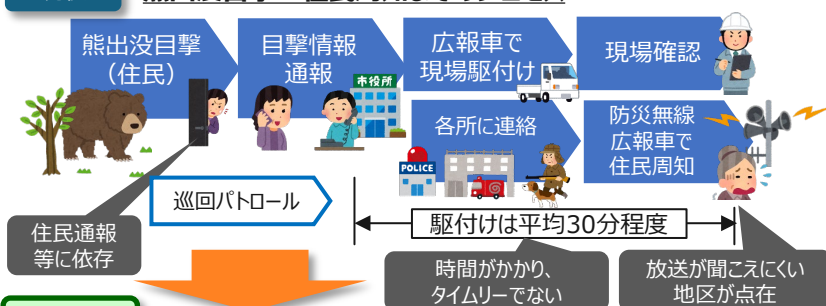
実証概要

- ・ 実証地区2箇所に、複数台のサーマルカメラ・連動PTZカメラ + AIボックスを設置し、熊出没検知を自動化する。Wi-Fi HaLow (850MHz)を活用し、約1.5km以上の長距離映像伝送で、既設のネットワークに接続する。これにより、自治体職員が庁舎や外出先から遠隔確認できる環境を整備し、人的負荷の軽減効果を検証する。
- ・ 熊出没検知の際、自治体職員が遠隔操作により住民宅のテレビに通知する。宅内にいる住民に対し、テレビを活用した情報伝達が防災行政無線等、他の伝達手段よりも情報伝達力が高いこと、及び検知（現在は目撃情報）から周知までの時間短縮を検証する。

現状・課題 → 目指す姿

現状

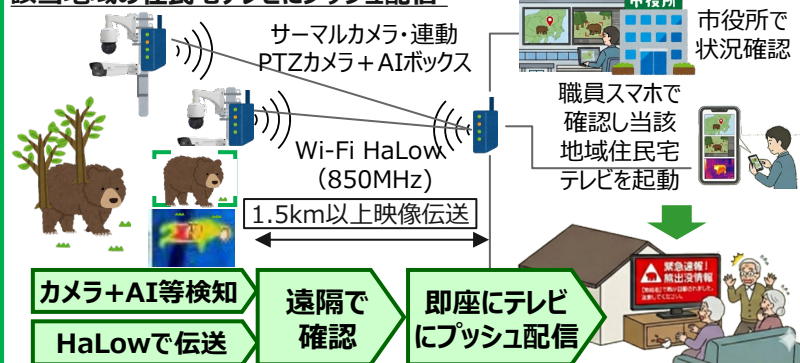
熊出没目撃～住民周知までのプロセス



目指す姿

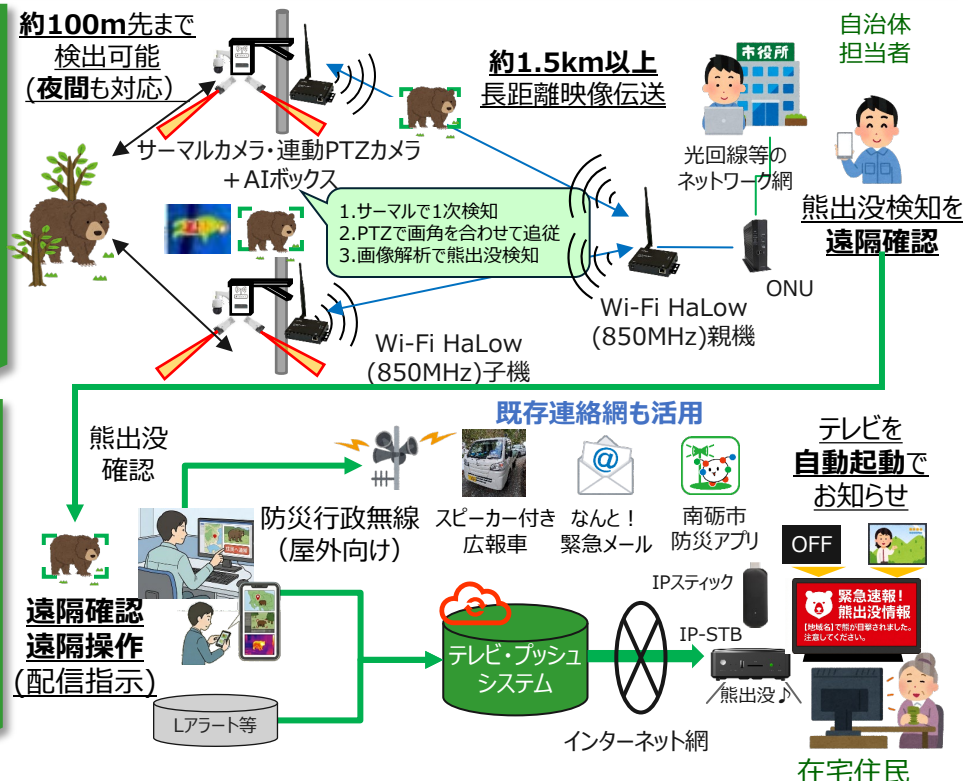
熊出没AI検知 + Wi-Fi HaLow (850MHz)で遠隔監視

該当地域の住民宅テレビにプッシュ配信



実証イメージ

サーマルカメラ連動PTZカメラ + AIボックスによる熊出没の遠隔監視



横展開候補先

近隣自治体（調整中）、全国ケーブルテレビ事業者等